

令和5年度 第1回 奈良県公共事業評価監視委員会

〔再々評価〕 平成25年度新規事業化

一般国道308号

ほうらい

(宝来ランプ)

令和5年10月

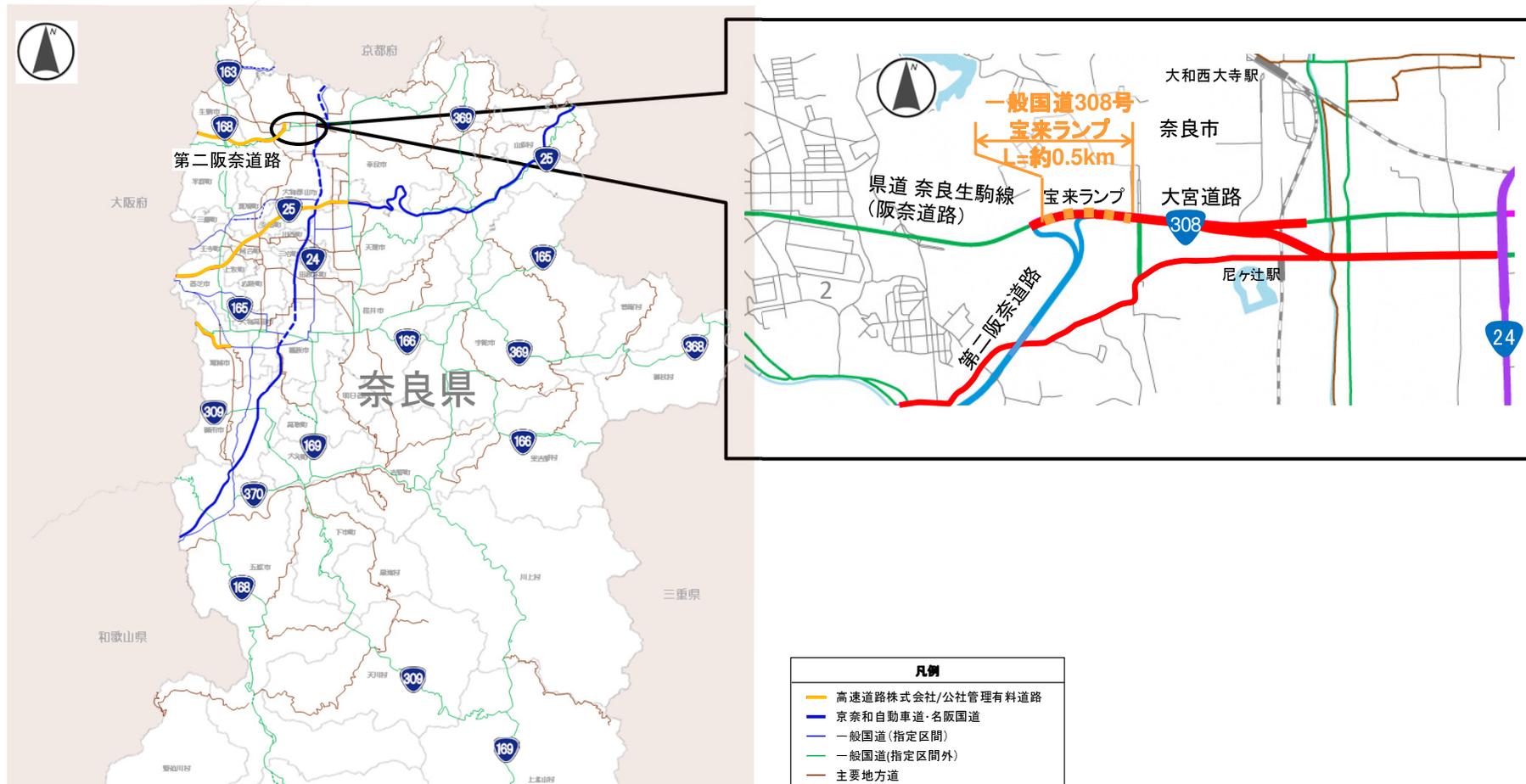
奈良県県土マネジメント部道路建設課

目 次

1. 路線の位置及び状況
2. 事業の概要
3. 上位関連計画への位置付け
4. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
5. 事業の効率性に関する視点
6. 事業の進捗の見込みの視点
7. 再評価時(H30)との比較
8. コスト縮減や代替案立案等の可能性
9. 対応方針(案)

1. 路線の位置及び状況

- 一般国道308号は、大阪府大阪市中央区を起点とし、奈良市に至る延長約35.1km(奈良県域約16.4km)の主要幹線道路である。
- また、本国道は、奈良市を東西に横断しており、奈良-大阪間をまたぐ第二阪奈道路、県道奈良生駒線(阪奈道路)と奈良市宝来町で接続している。
- 事業箇所である宝来ランプは、第二阪奈道路の東端に位置し、一般国道308号と接続する結節点となっている。

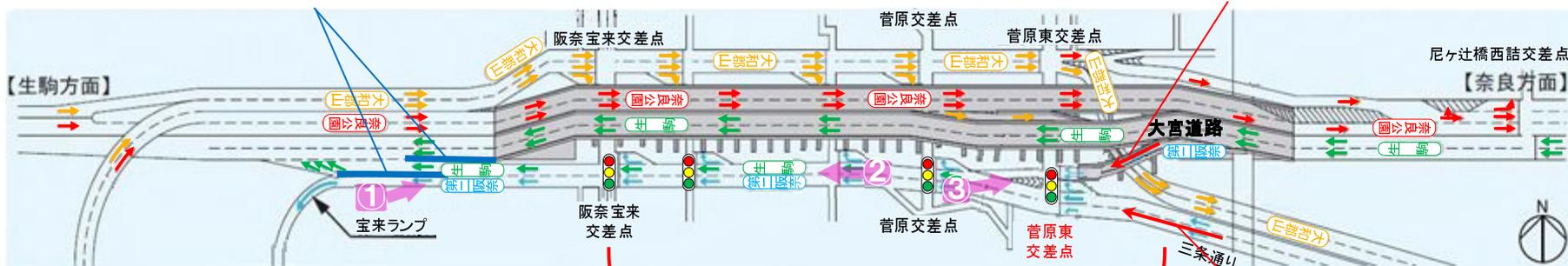


1. 路線の位置及び状況(現状の道路構造)

- 現在、奈良方面から第二阪奈道路を利用する際、高架部から宝来ランプに乗り入れできない状況。
- そのため、第二阪奈道路を利用する交通は、高架部に並行する側道を利用することとなり、三条通りから生駒方面へ向かう交通と菅原東交差点で合流しているため、休日を中心に混雑が常態化している。

◆ポンチ絵 ポストコーン

→高架から第二阪奈道路に乗り入れできない



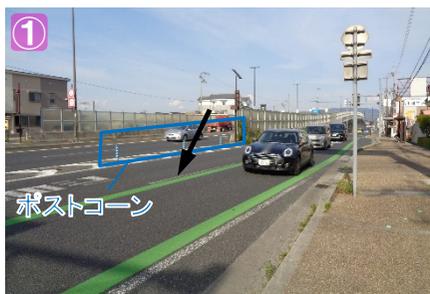
交通集中による渋滞が常態化

三条通りからの交通

◆現状写真

【現状】

ポストコーン設置により阪奈道路高架部から宝来ランプへの乗り入れを抑止



側道部(大阪行き)
片側 2車線

【現状】

休日を中心に側道が混雑している



側道部(大阪行き)
片側2車線

※写真: R5.5.12撮影



菅原東交差点
渋滞状況

2. 事業の概要

◆事業経緯

路線名	一般国道308号(宝来ランプ)
事業区間	奈良県奈良市宝来4丁目地内
事業化年度	平成25年度
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・第二阪奈道路のアクセス性の向上 ・交通安全性の向上 ・地域産業の活性化、観光振興 ・緊急輸送道路ネットワークの機能強化
都市計画変更	令和3年3月

◆事業内容

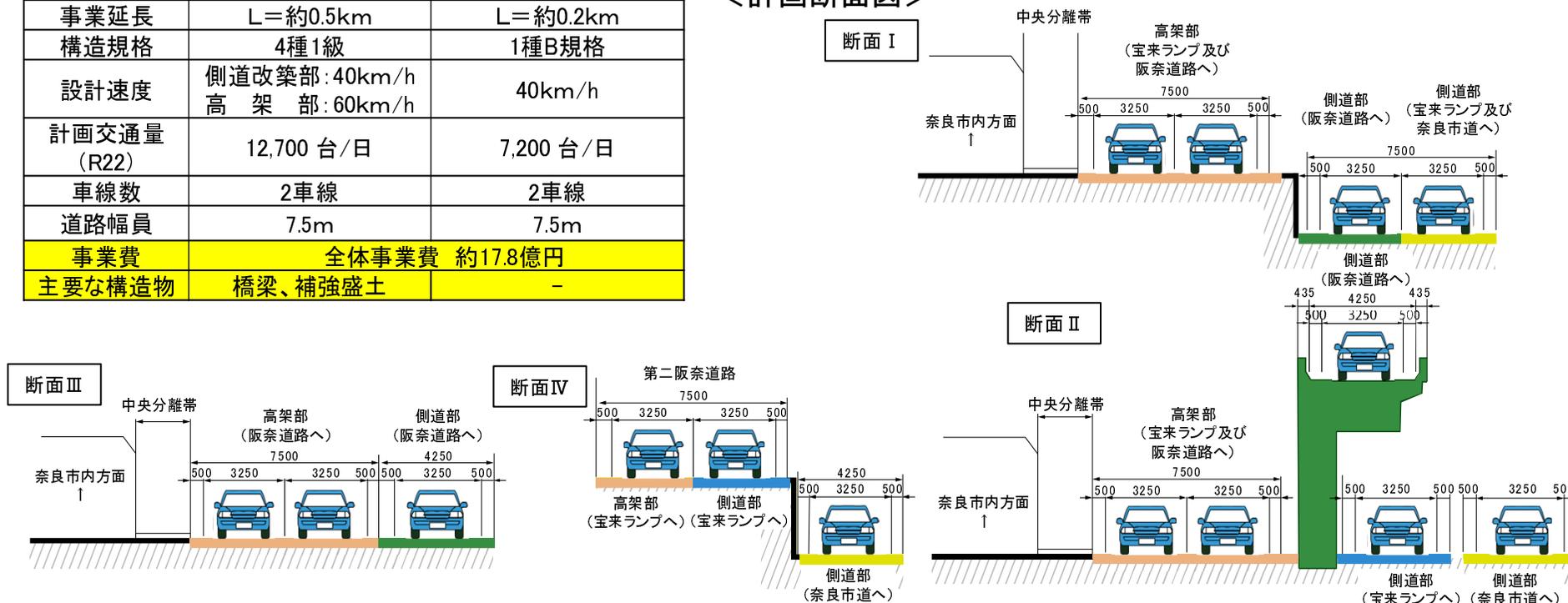
対象事業	側道部	宝来ONランプ
事業延長	L=約0.5km	L=約0.2km
構造規格	4種1級	1種B規格
設計速度	側道改築部: 40km/h 高架部: 60km/h	40km/h
計画交通量 (R22)	12,700 台/日	7,200 台/日
車線数	2車線	2車線
道路幅員	7.5m	7.5m
事業費	全体事業費 約17.8億円	
主要な構造物	橋梁、補強盛土	-

◆事業区間の道路構造

<平面図>

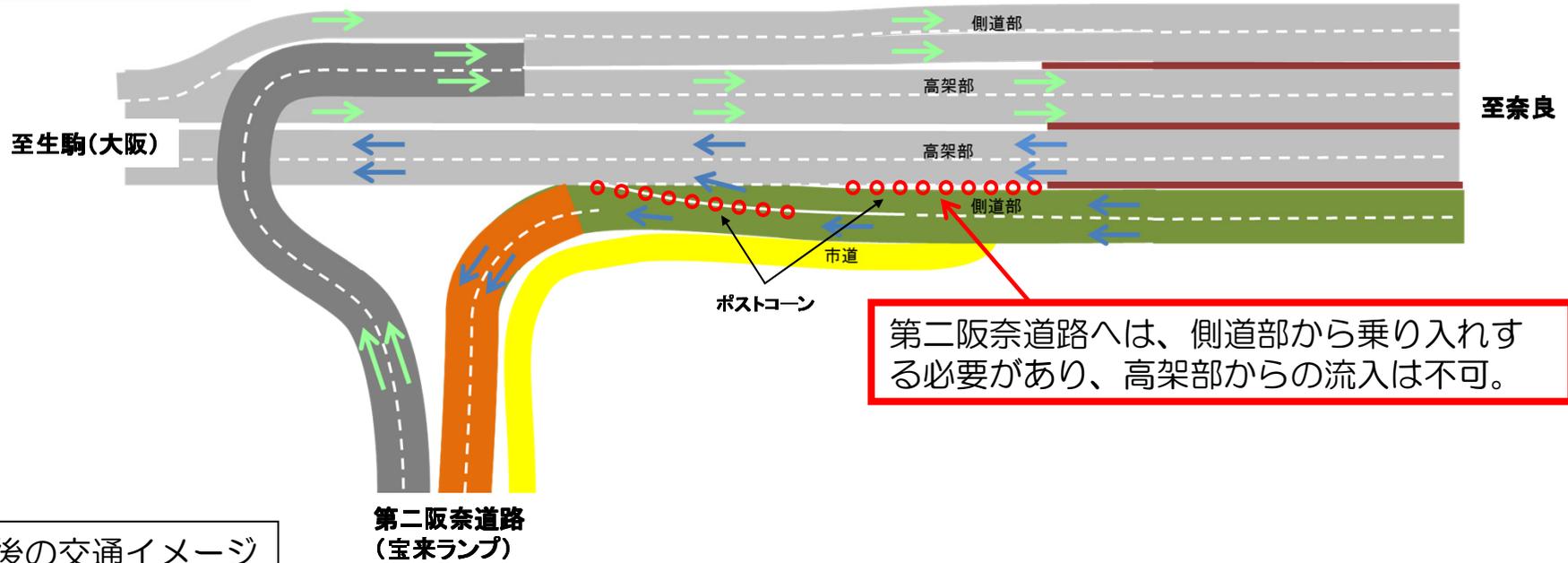


<計画断面図>

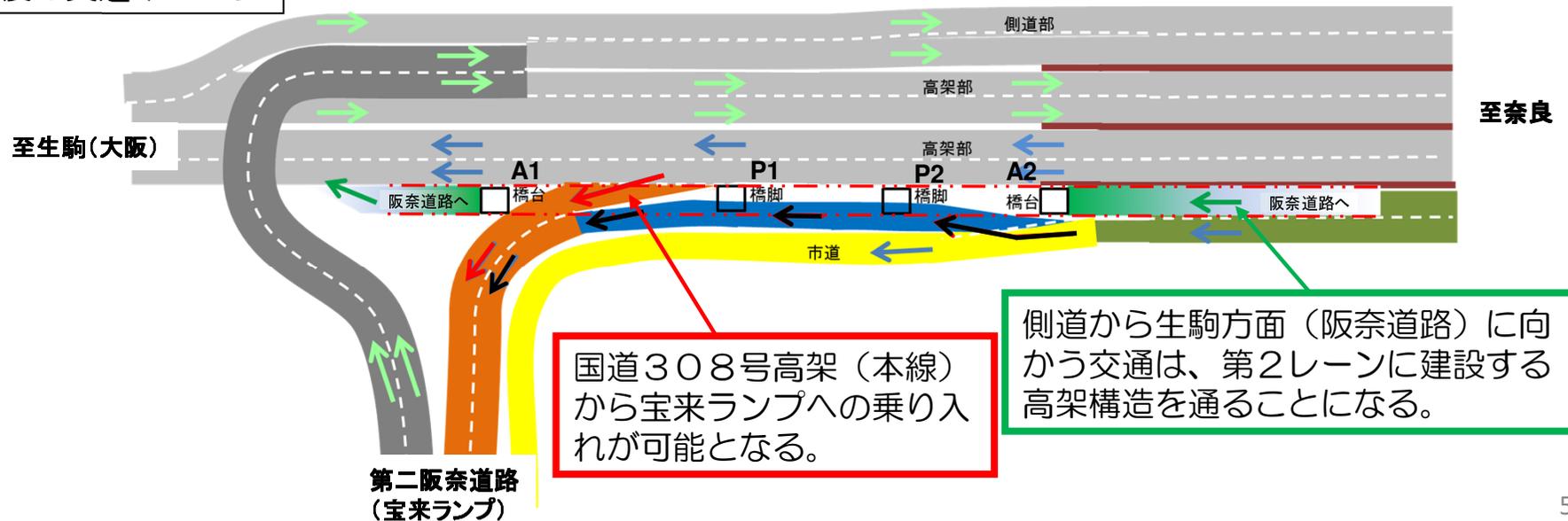


2. 事業の概要(整備前後の交通イメージ)

現道の交通イメージ

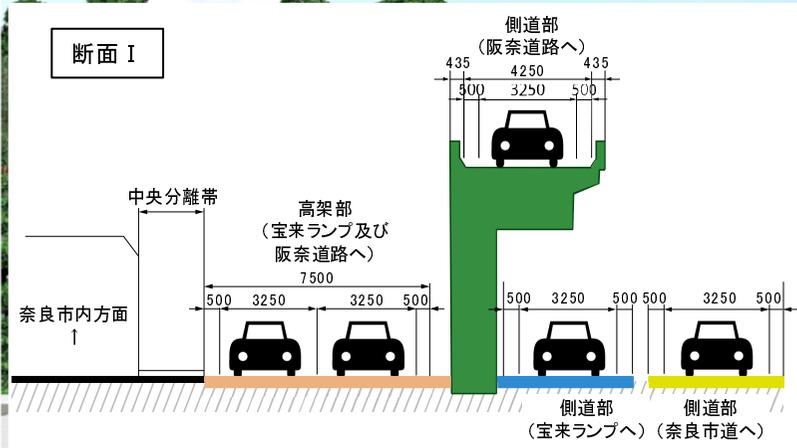


整備後の交通イメージ



2. 事業の概要(整備後のイメージパース)

整備後のイメージパース



高架によって
立体交差

第二阪奈道路

市道

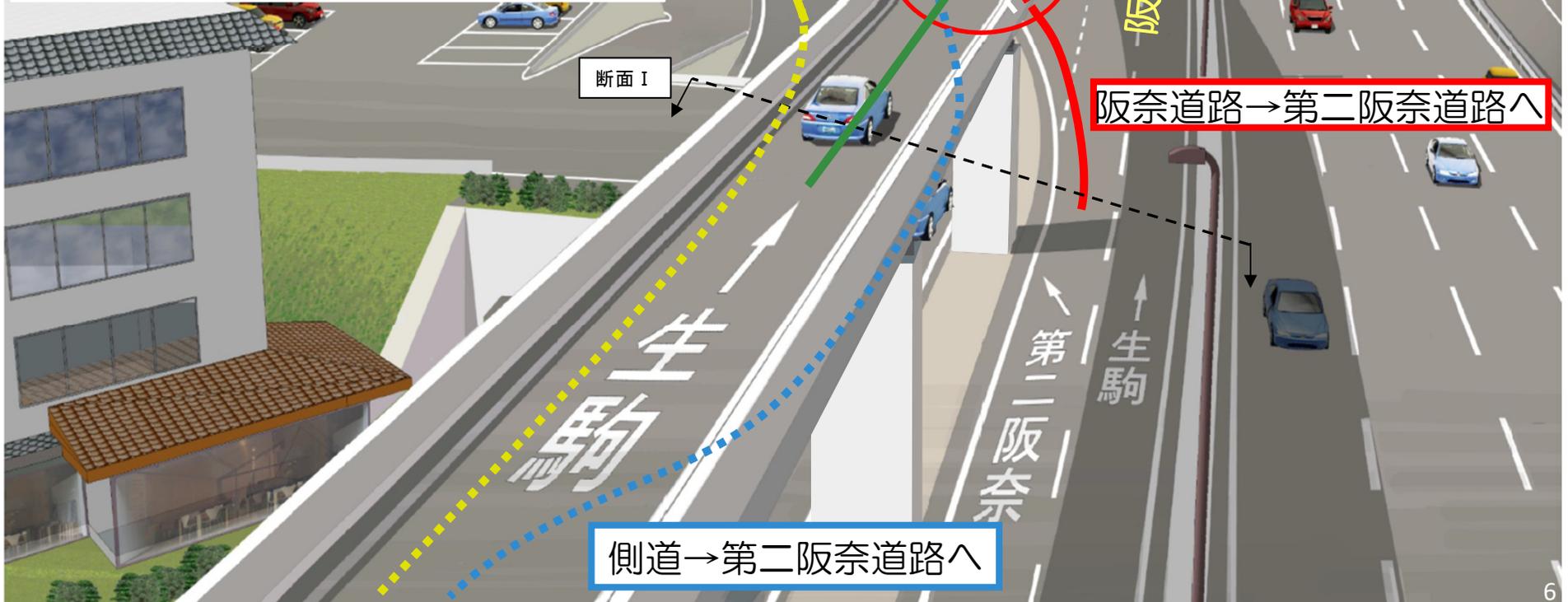
側道→阪奈道路へ

阪奈道路

阪奈道路→第二阪奈道路へ

断面 I

側道→第二阪奈道路へ



3. 上位関連計画への位置付け

上位関連計画	事業の位置付け
奈良県道路整備基本計画 (令和元年10月改定)	骨格幹線道路ネットワークにおける路線の点的整備箇所として <u>重点的な整備を推進する路線</u> に位置付け。
奈良市改訂都市計画マスタープラン (平成27年7月策定)	宝来ランプが接続する第二阪奈道路が国土的連携強化を図る「 <u>国土連携軸</u> 」に位置付け。一般国道308号(大宮道路)、県道奈良生駒線(阪奈道路)が <u>広域都市間でのアクセス向上や連携強化、交流促進を図る「広域連携軸</u> 」に位置付け。
奈良県緊急輸送道路ネットワーク計画 (平成9年3月策定(平成29年6月見直し))	「 <u>第1次緊急輸送道路</u> 」に位置付け。
重要物流道路制度 (平成31年4月指定)	宝来ランプが接続する第二阪奈道路、一般国道308号(大宮道路)が重要物流道路の「 <u>供用中区間</u> 」に位置付け。
大和都市計画の変更 (令和3年3月告示)	大和都市計画道路(奈良大阪線、大宮通り線)の変更。
近畿ブロック新広域道路交通計画 (令和3年7月策定)	宝来ランプが接続する第二阪奈道路が広域道路ネットワークに位置付け。
奈良県新広域道路交通計画 (令和3年7月策定)	宝来ランプが接続する第二阪奈道路が広域道路ネットワークに位置付け。

3. 上位関連計画への位置付け(骨格幹線道路ネットワーク)

■本事業は、奈良県道路整備基本計画(令和元年10月)において、骨格幹線道路ネットワークにおける結節点の点的整備箇所として、重点的に整備を推進する路線に位置づけている。

骨格幹線ネットワーク
(大和平野部)



出典：奈良県道路整備基本計画